

Table with 4 main columns: 基 (Basic), 本 (Main), 事 (Business), 項 (Item). Contains details for '公共下水道事業経営事業' including dates, categories, and objectives.

Table with 10 columns: 区分 (Category), 区分 (Sub-category), 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 (Budget/Actual/Change), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円). Rows include A (Total Costs), B (Funding Sources), and C (Net Costs).

Table with 8 columns: 区分 (Category), 指標名 (Indicator Name), 単位 (Unit), 平成30年度 (Target/Actual), 令和元年度 (Target/Actual), 令和2年度 (Target/Actual), 令和3年度 (Target/Actual), 令和4年度 (Target/Actual). Rows include ① 公共下水道事業 (Public Sewerage Business) and ② 活動指標 (Activity Indicators).

Footer area containing logos for Sustainable Development Goals (6, 11, 14) and copyright information: Copyright(C)2020 Yoshikawa City office.all rights reserved

評価年度の主な取組	1 研修会等への参加	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>研修内容</th> </tr> <tr> <td>11月16日</td> <td>下水道事業講習会(経営分析、予算・決算について)</td> </tr> <tr> <td>2月8日</td> <td>消費税講習会</td> </tr> </table>	実施日	研修内容	11月16日	下水道事業講習会(経営分析、予算・決算について)	2月8日	消費税講習会	3 吉川市下水道事業審議会の開催	<table border="1"> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>第1回</td> <td>8月27日</td> <td>経営戦略の必要性と策定方針について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月16日</td> <td>下水道事業の現状と今後の見通しについて</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月27日</td> <td>吉川市下水道事業経営戦略素案について</td> </tr> </table>	回数	開催日	内容	第1回	8月27日	経営戦略の必要性と策定方針について	第2回	10月16日	下水道事業の現状と今後の見通しについて	第3回	11月27日	吉川市下水道事業経営戦略素案について
	実施日	研修内容																				
	11月16日	下水道事業講習会(経営分析、予算・決算について)																				
2月8日	消費税講習会																					
回数	開催日	内容																				
第1回	8月27日	経営戦略の必要性と策定方針について																				
第2回	10月16日	下水道事業の現状と今後の見通しについて																				
第3回	11月27日	吉川市下水道事業経営戦略素案について																				
2 改善事項	<p>●企業会計システムの更新(令和3年2月)</p> <p>●吉川市下水道事業経営戦略の策定(令和3年3月)</p> <p>経営戦略において、今後の投資試算と財政試算を均衡させた収支計画を策定することで、持続可能な下水道事業会計の運営に取り組めるようになった。</p>																					

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	令和元年度より公営企業会計が導入されたことにより、事業の透明化及び健全化を図れるようになったため、妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	下水道法第2条第3項の規定により地方公共団体が管理運営することと定められているため妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	66.67% ★★★★ 達成度がやや低い	② 改善件数 (増加目標指標)	評価不可	33.33% ★★★ 達成度が低い	
	成果指標	114.53% ★★★★★ 達成された	② 経常収支比率 (増加目標指標)	評価不可	111.26% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	総収支比率の向上は、総費用を抑えることや料金改定などを行うことによって、向上の余地がある。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		97.39% 若干減少している 8,877,983.45 円	経常収支比率 成果指標を単位として換算 単位:円/%		9,115,533.76 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	各団体への負担金や公課費でありコスト改善の余地はない。また、これら負担金は、受益者に負担を求めるものではない。				
	受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	公営企業会計を取り入れ、事業の透明化及び健全化を図れるようになった。令和2年度に吉川市下水道事業経営戦略を策定し、計画的に事業運営を行えるようになった。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 今後、老朽化していく管渠の入れ替え及び耐震化を実施することにより、企業償還金が増加することが予想され、公営企業会計を圧迫することが予想される。	機会(プラス要素) 新型コロナウイルスの影響により、水道使用量が増加したことに伴い、下水道使用量が増加し、経常収支の向上が見込める。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	公営企業会計を導入したことにより、事業運営がより透明化されるようになり、経営状況が明確となった。また、中長期的な計画である。経営戦略を策定し、投資計画と財源計画の収支均衡を明らかにしたことにより、下水道事業を継続的に事業展開することが可能となった。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、事業を推進していく。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、事業を推進していく。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	汚水処理事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 下水道係			
	事業期間	平成30年度 ~ 未設定	事業年齢	29歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	下水道法、下水道法施行令			
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第3節 美しい水環境の創出			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(3)汚水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	下水道事業会計		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			款	項	下水道事業費用 営業費用		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	細目	管渠費		
	目的	対象(誰を、何を)	公共下水道汚水管渠、マンホール等の施設。			手段(どのような事業を行うのか)	①下水道管渠内のTVカメラによる調査の実施 ②下水道管渠内の油脂、土砂等堆積物の除去 ③マンホールや管渠の補修 ④マンホールポンプの点検整備 ⑤中川流域下水道へ汚水処理維持管理負担金の支払い ⑥指定工事店の登録や更新に関すること		
	対象年齢	-	-						
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	汚水の流下能力を確保し、公共下水道の機能を恒久的に発揮する。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50410601	汚水管渠内調査		
前年度事務事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					50410602	汚水管渠内洗浄(計画)		

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費		305,167	313,954	313,615	8,448	330,738	330,738
	② 人件費		7,812	7,978	8,028	216	8,028	8,028
	正職員投入人員		1.01人	1.01人	1.06人	0.05人	1.06人	1.06人
	正職員人件費		7,812	7,978	8,028	216	8,028	8,028
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)			312,980	321,932	321,643	8,664	338,766	338,766
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)		73	807	44	△ 29			
受益者負担率(⑩÷⑤)		0.02%	0.25%	0.01%				
C	吉川市年間負担経費(A-B)		312,907	321,125	321,599	8,693	338,766	338,766
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値		
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値				
対象 指標	①	下水道渠総延長		m	-	193,662	195,269	197,018	199,667		
		汚水管渠の総延長で下水道の整備と伴に延びていく			-	193,791	193,879				
		維持管理の対象となる施設			-	3	3				
活動 指標	②	マンホールポンプ設置数		基	-	3	3	3	3		
		下水道施設の調査			-	1	1				
		マンホールの巡視及び汚水管渠内のTVカメラ等による調査の回数			-	0	0				
成果 指標	③	管渠内清掃(実施延長)		回	-	1,919	974	2,246	2,246		
		汚水管渠内を高圧洗浄により清掃した延長距離			-	1,226	845				
		汚水処理量			-	5,846,845	6,406,897				
④	中川流域下水道に流入して処理した汚水量		-	6,318,274	6,498,385	6,442,767	6,474,618				
	①	緊急管渠内洗浄		回	-			2	2	2	2
		突発的に発生した管渠内清掃の回数			-			3	3		
②											

評価年度の主な取組	1 污水管渠内清掃業務委託			4 中川流域維持管理負担金		
	業務委託名		金額	項目		金額、数量
	管渠内清掃業務委託		1,210,000円	年間汚水処理量		6,498,385m <sup>3</sup>
	管渠内清掃業務委託(緊急清掃)		253,000円	汚水処理単価		40円
				維持管理負担金額(税込)		259,935,400円
	2 污水管渠維持管理業務委託料			5 下水道使用料徴収事務委託		
	業務委託名		金額	概要		金額
	汚水マンホールポンプ設備点検業務委託		1,166,000円	汚水マンホールポンプ点検3か所		44,283,800円
	3 調査費					
	業務名		金額	概要		
	特定事業場排水水質調査業務委託		1,078,000円	6事業所、年4回(5月、9月、11月、2月)実施		
	中川流域下水道流入点水質等調査業務委託		775,043円	流入点4か所、年1回(おおむね11月)実施		

区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	公共下水道施設の機能を維持するため、計画的な污水管の調査や清掃、修繕工事などを行うことは妥当である。			
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担(行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	101.43% ★★★★★ 達成された	③ 汚水処理量 (増加目標指標)	評価不可	108.06% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	150.00% ★★★★★ 達成された	① 緊急管渠内洗浄 (増加目標指標)	評価不可	150.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	後期基本計画に掲げる「汚水処理施設管理の充実」において、「管渠内点検・清掃実施延長」を指標として設定しており、この施策に対する貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		102.72% 若干増加している 1,658.99 円	下水道渠総延長 対象指標を単位として換算 単位: 円/m		1,615.04 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	計画的に下水道管渠内のTVカメラによる調査を実施して、污水管渠の維持管理を進めることが、修繕工事費のコスト改善につながる。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	マンホール状況調査の結果を基に管渠内清掃計画を策定し、計画的に、管渠内清掃を実施していく。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<b>リスク(マイナス要素)</b> 管渠の老朽化は年々進んでおり、管渠の破損による詰まりや不明水の混入が発生することが予想される。	<b>機会(プラス要素)</b> 下水道施設の老朽化は年々進んでおり、施設の維持管理費用が増大することが予測されるため、プラス要素は想定し難い。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	継続的に汚水処理を実施していくために、下水道施設の効果的及び効率的な点検・補修に努めていく。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	令和3年度に、TVカメラを購入し、職員による管渠内調査を実施し、管渠内の閉塞状況や破損状況を早急に把握し、改善に努めていく。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	令和3年度に、TVカメラを購入し、職員による管渠内調査を実施し、管渠内の閉塞状況や破損状況を早急に把握し、改善に努めていく。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including name (污水処理施設建設改良事業), period (昭和61年度 ~ 未設定), and various evaluation criteria like budget, personnel, and execution methods.

Table showing financial breakdown by category (A: Total Costs, B: Specific Resources, C: Subsidies) across fiscal years Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3, and Reiwa 4.

Table detailing performance indicators (KPIs) for the project, such as 'Service Recognition Area' and 'Wastewater Treatment Area', with target and actual values for each year.

評価年度 の 主な 取組	1 工事費等				2 企業債償還金	
	項目	工事名等	金額	概要		
	管渠費	吉川美南駅東口汚水管埋設工事(R1年度事業分)	84,011,300円	L:506.59m		
	管渠費	吉川美南駅東口汚水管埋設工事(R2年度事業分)	64,900,000円	L:561.50m		
	管渠費	市道2-102号線汚水人孔補修工事:きよみ野地内	2,860,000円	人孔9か所		
	管渠費	市道2-397号線汚水人孔補修工事:木売地内外	17,050,000円	人孔26か所		
	管渠費	平沼1丁目汚水人孔補修工事:平沼1丁目地内外	5,775,000円	人孔21か所		
	管渠費	県道加藤平沼線汚水人孔補修工事:栄町地内	495,000円	人孔3か所		
	管渠費	汚水人孔補修工事:小松川地内外	693,000円	人孔3か所		
	管渠費	水路内汚水管渠布設工事:高久1丁目地内	2,420,000円	L:40.5m		
流域下水道費	中川流域下水道事業建設負担金	41,045,628円	負担割合3.27%			
業務費	排水設備工事	25,243,020円	取付管65か所公共ます98か所			

項目	金額
建設改良のための償還元金	361,990,561円
流域下水道事業償還金	55,217,358円
資本平準化費償還金	14,517,917円
合計	431,725,836円

事業 性	区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
		対象・手段	意図	役割分担(行政関与)				
業 有 効 性	種別	令和2年度	令和元年度	評価指標(指標性質)		平成30年度	令和元年度	
		34.28% ★★ 達成度が低い	21.49% ★ 達成度がかなり低い	② 汚水管渠を整備した延長距離 (増加目標指標)		評価不可	100.05% ★★★★★ 達成された	
業 効 率 性	成果向上の余地	令和2年度	令和元年度	単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度	
		103.11% 若干増加している 345,266,822.00円	334,851,560.00円	汚水管渠整備工事発注件数 活動指標を単位として換算 単位:円/件		評価不可	334,851,560.00円	

改革	これまでの改革・改善内容	下水道整備計画によりほぼ整備は完了した。	
改善	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、計画的に老朽化した下水道施設の改修や耐震化を実施することにより、事業の継続性を図る。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、事業を推進していく。			
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、事業を推進していく。			
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	雨水排除事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	昭和61年度 ~ 未設定	事業年齢	34歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武		
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	下水道法				
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(3)雨水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		予 算 科 目	会計区分	吉川市下水道事業特別会計			
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		目	款	下水道事業費用		営業費用	
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		目	目	管渠費 ポンプ場費			
		目的	対象 (誰を、何を)	対象年齢		-	-	手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	①各雨水ポンプ場の電気・機械設備の点検及び不具合箇所を修繕する。 ②スクリーン清掃、ポンプピット内浚渫及び雨水幹線内を除草する。	
	意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	各雨水ポンプ場及び雨水幹線が最大限の能力を発揮できるようにする。								
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		ポンプ施設管理事業		業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		50420501 下水道雨水ポンプ場等維持管理	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		704201					50420502 下水道雨水ポンプ場等施設点検	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	0	47,018	47,705	44,319	△ 2,699	49,744	51,000
	② 人件費		3,713	3,792	7,347	3,634	7,347	7,347
	正職員投入人員		0.48人	0.48人	0.97人	0.49人	0.97人	0.97人
	正職員人件費		3,713	3,792	7,347	3,634	7,347	7,347
	会計年度任用職員人件費						0	
	③ 間接経費(加算)					0		
	④ コスト対象外(除外)					0		
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	0	50,731	51,497	51,666	935	57,091	58,347
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
	⑨ その他					0		
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0		
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
	C 吉川市年間負担経費(A-B)	0	50,731	51,497	51,666	935	57,091	58,347
	D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 雨水排水施設	施設			9	9	
	雨水ポンプ場、調整池排水機場				9	9	9
②	除草面積	㎡			8,300	8,300	
	除草対象面積の合計				8,300	8,300	8,300
活 動 指 標	① 委託件数	件			15	15	
	業務委託年間件数				17	16	15
②	除草実施回数	回			3	3	
	年間に実施した回数				3	3	3
成 果 指 標	① ポンプ運転故障件数	件			0	0	
	運転停止故障件数				1	0	0
②	除草実施面積	㎡			24,900	24,900	
	年間に実施した面積の合計				25,700	24,900	24,900

評価年度の主な取組	1 下水道雨水ポンプ施設 共保水ポンプ場、高久雨水ポンプ場、東埼玉テクノポリスポンプ場、吉川駅南No.1雨水ポンプ場、吉川駅南No.2雨水ポンプ場、吉川中央第1調整池ポンプ場、吉川中央第2ポンプ場、美南1・2丁目ポンプ場、美南3丁目ポンプ場		
	2 施設管理業務委託		
	内容	箇所数	
	内容		
	ポンプ点検業務	9	各ポンプ場施設の機械・電気設備点検、共保排水樋管点検
	維持管理業務	9	各ポンプ場の維持管理、電気保安業務、調整池内及びスクリーン清掃、樹木管理
	し渣撤去・搬出処分	9	各ポンプ場、第1号雨水幹線へ流入するゴミの撤去、搬出、処分
	除草	7	各ポンプ場、第1号雨水幹線の除草、年3回
	3 緊急修繕 故障が無かったため、緊急修繕なし		

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・治水対策として市が設置したポンプ施設が対象であり、その維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・ポンプ施設が適正に運転できるようにする必要があり、その手段として動作確認、電気点検及び修繕を実施することは妥当である。 ・各施設を正常に機能させ、浸水被害を軽減させる意図であり妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・雨水処理は公費とする理念から、行政で実施することは妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	<p>▲活動 ●成果</p>
		活動指標	106.67% ★★★★★ 達成された	① 委託件数 (増加目標指標)		113.33% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① ポンプ運転故障件数 (ゼロ値目標指標)		0% ★ 達成度がかなり低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・点検により故障の予防が可能となり、また、能力増強をすることが浸水被害の軽減につながることから、成果向上の余地はある。 ・内水排除は市の最重要施策であることから、点検による機能維持は総合的な治水対策に大きく貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	<p>変動率</p>	
		評価不可	ポンプ運転故障件数 成果指標を単位として換算 単位：円/件		評価不可 50,730,787.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・経年劣化が進む施設の点検、修繕であることから、コスト削減の実現性は極めて乏しく、改善の余地はない。 ・雨水排除は公費とする理念上、受益者負担を求める余地はない。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	・修繕の優先順位検討や、修繕項目を集約した一括発注等でコスト削減に努めている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	各ポンプ施設の老朽化が進んでおり、部品調達が困難な機械類も多数存在することから、常に故障リスクを抱えているのが現状である。また、維持管理を実施する上で安定した財源の確保も課題である。 ①経営的視点・・・雨水処理に係る収益的支出の相当部分を占め、今後も施設の増加や老朽化の進行に伴い費用の増大が見込まれるため、下水道事業の財政を圧迫することが懸念される。 ②市民視点・・・治水計画の根幹を成す重要設備であり、市民の関心も極めて高い。 ③持続可能性視点・・・当該事業が終了することはない。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	設置後10年前後となる各ポンプ場の電気設備や機械設備について、メーカー推奨による詳細点検を順次実施して、故障リスクの低減に努める。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	設置後10年前後となる各ポンプ場の電気設備や機械設備について、メーカー推奨による詳細点検を順次実施して、故障リスクの低減に努める。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

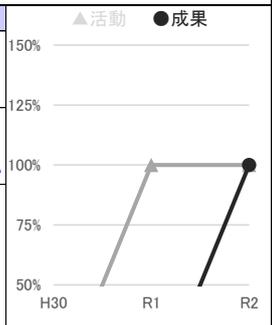
基 本 本 事 項	事務事業名	雨水排除施設建設改良事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	昭和53年度 ~ 未設定	事業年齢	42歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし				
	基本の計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度				
	施策小項目	(2)雨水処理施設の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	吉川市下水道事業特別会計			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』				款 項	下水道事業費用		建設改良費	
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 障がい者計画			目 細目	管渠費 ポンプ場費				
	目的	対象(誰を、何を)	①共保雨水ポンプ場の機械設備及び電気設備、②高久雨水ポンプ場の機械設備及び電気設備、③公共下水道(雨水管渠)、④美南1・2丁目調整池ポンプ、⑤吉川駅南No.1ポンプ場No.2ポンプ			手 段 (どのような事業を行うのか)	国庫補助及び企業債を活用して施設更新工事、施設改修施設設計、オーバーホール及び雨水管渠敷設工事を実施する。			
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	・施設の故障停止リスクが低減される。 ・雨水幹線を整備することにより浸水被害が低減される。									
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 橋りょう長寿命化事業			業務プロセス(No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704202									

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	0	275,722	252,667	199,954	△ 75,768	455,766	295,000
	② 人件費		10,752	10,980	7,195	△ 3,556	7,195	7,195
	正職員投入人員		1.39人	1.39人	0.95人	△ 0.44人	0.95人	0.95人
	正職員人件費		10,752	10,980	7,195	△ 3,556	7,195	7,195
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		0	286,474	263,647	207,149	△ 79,325	462,961	302,195
資 源	⑥ 国庫支出金		131,800	115,900	96,167	△ 35,633	180,343	100,000
	国補助率		1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債		143,800	135,000	101,400	△ 42,400	274,843	190,000
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)		0	10,874	12,747	9,582	△ 1,292	7,775	12,195
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値	
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値			
対 象 指 標	① 下水道雨水ポンプ場 長寿命化対象施設	施設			2	1		
	下水道雨水ポンプ場 長寿命化計画策定施設数				2	1	2	2
活 動 指 標	② 公共下水道区域の面積	ha			749	749		
	吉川市公共下水道区域				749	749	749	749
成 果 指 標	① 長寿命化計画実施機器	資産			3	3		
	長寿命化計画に基づく更新工事完了機器数				3	3	3	3
成 果 指 標	② 雨水管渠整備延長	m			430	1,000		
	雨水管渠整備延長				430	629	500	1,100
成 果 指 標	① ポンプ運転故障件数	件			0	0		
	運転停止故障件数				1	0	0	0
成 果 指 標	② 下水道雨水整備面積	ha			415	415		
	5年確率(55.5mm/h)に対応する雨水整備が完了した面積				415	415	415	415

評価年度の主な取組	1 工事	
	工事名	内容
	共保・高久雨水ポンプ場電気設備工事	【R1から繰越】共保・高久各雨水ポンプ場の受変電設備撤去・更新外
	共保雨水ポンプ場機械設備工事	No.3ポンプオーバーホール
	雨水管敷設工事(31-1)	FRP φ 700 工事延長 約125m【R1から繰越】
	雨水管敷設工事(31-2)	FRP φ 1350 工事延長 約102m【R1から繰越】
	雨水管敷設工事(31-3)	□1400×1400 工事延長 約54m【R1から繰越】
	雨水管敷設工事(31-4)	FRPM φ 1000・φ 1100 工事延長 約95m【R1から繰越】
	雨水管敷設工事(2-1)	FRPM φ 700・φ 1100 工事延長 約128m【R3へ繰越】
	雨水管敷設工事(2-2)	FRPM φ 800・□1400×1400 工事延長 約125m【R3へ繰越】
2 業務委託		
委託名	内容	
材料単価特別調査業務委託	雨水管敷設工事、共保雨水ポンプ場電気設備工事に係る材料単価調査	

事業性	区分	評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・治水対策として市が設置したポンプ施設の維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・ポンプ施設が適正に運転できるように、動作確認、電気点検及び修繕を実施することは市の責務であり妥当である。 ・各施設を正常に機能させることは、市の責務であり妥当である。			
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
			活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 長寿命化計画実施機器 (増加目標指標)		100.00% ★★★★★ 達成された
		成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① ポンプ運転故障件数 (ゼロ値目標指標)		0% ★ 達成度がかなり低い	
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・経年劣化した施設の機器を更新することで故障のリスクを軽減させることができるので、成果向上の余地はある。 ・内水排除は市の最重要施策であることから、点検による機能維持は総合的な治水対策に大きく貢献している。			
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
	評価性	単当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率
72.31% 減少している 69,049,633.33 円			長寿命化計画実施機器 活動指標を単位として換算 単位：円/資産		評価不可 95,491,216.67 円		
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・製造中止となった部品が多いことから部品交換だけではいかず、機器全体の更新とせざるを得ないため、コスト改善の余地はない。 ・雨水排除は公費とする理念上、受益者負担を求める余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						



改革改善	これまでの改革・改善内容	平成26年度からポンプ場更新工事、令和元年度から雨水管敷設工事に着手している、改善すべき(できる)事項があれば随時検討することとしている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・活用可能な国庫補助金や起債を充当することにより、更なる事業の促進が必要である。 ②市民視点・・・治水計画の根幹を成す重要設備であり、市民の関心も極めて高い。 ③持続可能性視点・・・各ポンプ場の電気設備、機械設備を全て更新するには相当の年数を要するため、安定した財源の確保が必要である。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	下水道事業経営戦略に基づき事業を推進していく。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	一級河川改修促進事業		所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係					
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	根拠法令等	なし					
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)河川の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	予 算 科 目	会計区分	一般会計				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	基本目標2『市民の幸福実感を追及する』	款	土木費	道路橋りょう費			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	執行方法	目	準用河川改修費	準用河川改修事業			
	目的	対象 (誰を、何を)	吉川市の治水対策に影響する一級河川 ①江戸川 ②中川 ③大場川、第二大場川(調整池含む)			目	細目	準用河川改修費	準用河川改修事業	
	対象年齢	-	-	手段 (どのような 事業を行うのか)	埼玉県河川協会、中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会、 江戸川改修促進期成同盟会に加盟し、省庁、国会議員に對し 要望活動を行う。					
	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	国及び県が管理する一級河川の改修整備が促進する。			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	50420201	一級河川改修促進	
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	埼玉県道路協会						
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	704203						

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	130	189	100	88	△ 101	142	150
	② 人件費	388	155	158		△ 155		
	正職員投入人員	0.05人	0.02人	0.02人		△ 0.02人		
	正職員人件費	388	155	158		△ 155		
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	519	344	258	88	△ 256	142	150	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	519	344	258	88	△ 256	142	150
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 河川改修を促進するために設立された河川協議会の数	件	3	3	3		
	市の治水対策に影響がある一級河川の促進協議会の数		3	3	3	3	3
活 動 指 標	① 省庁、国会議員への要望活動を行った回数	回	3	3	3		
	要望書の提出、訪問活動の回数		3	3	1	3	3
	②						
成 果 指 標	① 改修事業が促進される一級河川の数	本	3	3	3		
	予算措置されている河川の数		3	3	3	3	3
	②						

評価年度 の 主 な 取 組	1 要望活動 国会・政府機関・埼玉県へ年1回要望活動を実施、また、国、県の予算編成に対する事業費確保の要望書を文書にて提出する。	
	2 負担金	
	負担金名	負担金額
	江戸川改修促進期成同盟会負担金	33,000円
	中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会負担金	7,000円
	埼玉県河川協会負担金	39,000円

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・国及び県が管理する一級河川が対象であり、その改修整備を促進させるため、市が積極的に要望活動を行うことは妥当である。 ・江戸川、中川、大場川、第二大場川の一級河川の改修整備を促進させるため、その手段として各同盟会及び県河川協会に加盟し、省庁や国会議員に要望活動を行うことは妥当である。 ・当市の治水に大きな影響を与える一級河川の改修整備を促進させる意図は妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・国及び県が管理する一級河川の改修整備を促進させることは、市の治水計画に直結する問題であることから、市が積極的に要望活動を行うことは妥当である。				
業 評 性	有効性	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	33.33% ★★ 達成度が低い	① 省庁、国会議員への要望活動を行った回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 改修事業が促進される一級河川の数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・国及び県への要望活動については継続性が重要であり、現在実施されている中川河川改修や吉川駅南調節地整備など、その効果が表れてきている。今後においては、大場川の早期改修が期待される。 ・後期基本計画に掲げる「総合的な治水対策の推進」に直結した事業であり、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		76.85% 減少している 88,034.00円	省庁、国会議員への要望活動を行った回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	156.14% 増加している 172,862.33円	66.27% 減少している 114,554.00円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・負担金額については、事業内容に応じ定められた金額を負担することとなり、コスト改善の余地はない。 ・治水対策の一環となる当事業は、市が実施すべき事業であり、他の者に求める余地はない。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革 改 善	これまでの改革・改善内容	流域外である利根川治水同盟会を脱退し、コスト削減を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・負担金に対する河川の安全度向上は費用対効果の面で優れている。 ②市民視点・・・河川の安全度向上と内水氾濫低下は市の悲願でもあり、市民の期待も極めて大きい。 ③持続可能性視点・・・河川改修には長期間を要するが、費用対効果の観点から、今後も継続して国や県へ要望活動を実施していく。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	河川改修には長期間を要するため、今後も継続して国や県へ要望活動を実施していく。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	河川等除草業務委託			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係					
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	根拠法令等	河川法					
		まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無					
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	予 算 科 目	会計区分	一般会計					
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		款 項	土木費	道路橋りょう費				
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	河川施設 ①上第二大場川 ②西大場川 ③木売落貯留施設 ④中川 ⑤市街化区域内水路			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	執行方法	全部委託 業者委託			
		意 図 (対象にど のような状 態になっ てほしい のか)	①堤防が保全される。 ②利用者(人、車)の安全が確保される。					河川施設法面、堤防管理用通路部分の除草及び刈草集草処分を行う。			
類似事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	国・県管理河川の除草	業務プロセス (No.・名称)			<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	50420101	河川等除草業務
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	704204								

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	8,111	8,690	8,210	8,082	△ 608	8,700	8,700
	② 人件費	1,864	2,630	2,686	833	△ 1,797	833	833
	正職員投入人員	0.24人	0.34人	0.34人	0.11人	△ 0.23人	0.11人	0.11人
	正職員人件費	1,864	2,630	2,686	833	△ 1,797	833	833
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	9,975	11,320	10,896	8,915	△ 2,405	9,533	9,533	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	9,975	11,320	10,896	8,915	△ 2,405	9,533	9,533	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助	<input type="checkbox"/> 一部補助	<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり	<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 除草面積	㎡	20,548	20,548	20,548	20,548	20,548
	② 除草対象面積の合計		20,427	20,434	19,515		
活 動 指 標	① 除草実施回数	回	2	2	2	2	2
	② 年間に実施した回数		2	2	2		
成 果 指 標	① 除草実施面積	㎡	53,591	53,591	53,591	53,591	53,591
	② 年間に実施した面積の合計		50,267	54,263	44,957		

評価年度の主な取組	除草業務委託			
	業務名	除草対象面積	除草回数	除草実施面積
	準用河川除草業務委託	13,417 m <sup>2</sup>	1~3回	32,762 m <sup>2</sup>
	木売落貯留施設他除草業務委託	6,098 m <sup>2</sup>	2回	12,195 m <sup>2</sup>
	西大場川樹木等伐採業務委託	1式	1式	1式
	合計	19,515 m <sup>2</sup>		44,957 m <sup>2</sup>

事業性	区分	評価結果	判断理由(特記事項)			
	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理している河川施設であり、貯留量確保及び安全管理のため市が実施することは妥当である。 ・除草業務を年2回実施し、最小限の維持管理は確保されている。 ・除草の実施により、堤防の保全・利用者の安全が確保されている。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
業効性	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理している河川施設であり、他者による作業実施を検討する余地はない。			
	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 除草実施回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された
評価性	成果指標	83.89% ★★★★ 概ね達成された	① 除草実施面積 (増加目標指標)	93.80% ★★★★ 概ね達成された	101.25% ★★★★★ 達成された	
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・利用者の安全確保、不法投棄抑止の効果は期待できるが、関連する上位施策はない。			
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし				
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度 82.46% 減少している 456.82 円	単位当たりコスト換算指標	平成30年度 104.80% 若干増加している 488.31 円	令和元年度 113.45% 増加している 553.97 円	変動率 ▲活動 ●成果 150% 125% 100% 75% 50% H30 R1 R2
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	除草面積 対象指標を単位として換算 単位: 円/m <sup>2</sup>	若干増加している	増加している	
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・除草後の集草、搬出、処分までを実施するには業務委託契約が必要であり、人件費高騰の観点からもコスト削減の余地は少ない。 ・河川区域、貯留施設は公共財産であるため、その維持管理を特定の者へ負担させることは適正ではない。			

改革改善	これまでの改革・改善内容	・上第二大場川と西大場川を一緒に発注することにより、経費の削減や事務の簡素化を図っている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 除草回数を増やして欲しいとの要望が多数寄せられているが、施設管理において必要最小限度の作業量しか見込んでいないため、市民ニーズに答えられていない。	機会(プラス要素) 河川改修の進捗に伴い、護岸整備が進めば除草作業の減少が期待できる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・事業費の大部分が人件費であり、作業量とコストが比例するため、効果的な経費削減ができない。 ②市民視点・・・川辺の散策をする上で除草を要望される声が多い。 ③持続可能性視点・・・除草作業が無くなることはないが、他部署で実施している除草業務との一本化等について検討する余地はある。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	引き続き施設管理上で必要な作業であることから、適切な時期に除草を実施していく。			
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	河川整備事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係						
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武		
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	河川法				
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施 計画 の 位置 付け	施策	第6節 総合的な治水対策の推進				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(1)河川の整備				直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	創生 総合 戦略 との 関連	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計			
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	基本目標2『市民の幸福実感を追及する』				款 項	土木費	道路橋りょう費		
	個 別 計 画 の 位 置 付 け	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				目 細目	準用河川改修費	準用河川改修事業			
		目 的	対象 (誰を、何を)	吉川美南駅東口周辺地区整備と合わせ、準用河川上第二大場川の未改修部分の改修工事を行う。				手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	①水理検討 ②護岸形状の検討 ③工事施工			
意 図 (対 象 に ど の よ う な 状 態 に な っ て ほ し い の か)	対象年齢		-	-								
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	雨水排除事業			業務プロセス (No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	704205										

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A ト ー タ ル コ ス ト	① 事業費	5,184	147,218	177,534	153,413	6,195	394,099	169,384
	② 人件費	1,631	309	316	2,727	2,417	2,727	2,727
	正職員投入人員	0.21人	0.04人	0.04人	0.36人	0.32人	0.36人	0.36人
	正職員人件費	1,631	309	316	2,727	2,417	2,727	2,727
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	6,815	147,528	177,850	156,140	8,612	396,826	172,111	
B 特 定 財 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債		55,000	172,300	153,400	98,400	365,200	169,300
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	6,815	92,528	5,550	2,740	△ 89,788	31,626	2,811
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 上第二大場川の改修延長(総延長)	km	2	2	2	2	2
	改修(暫定含む)が完了した延長(総延長)		2	2	2		
活 動 指 標	① 上第二大場川改修延長(単年度)	km	0	0.2	0.2	0.1	0.1
	改修工事が完了した延長(単年度)		0	0	0.13		
成 果 指 標	① 上第二大場川改修延長(単年度)	km	0	0.2	0.2	0.1	0.1
	改修工事が完了した延長(単年度)		0	0	0.13		
②							

評価年度の主な取組	1 業務委託	
	業務委託名	内容
	上第二大場川改修詳細設計業務委託	詳細設計L=120m 最適工法検討他
	2 工事	
	工事名	内容
	上第二大場川改修工事 ※令和元年度から繰越	L=130m、地盤改良工、土工等一式
工事名	内容	
上第二大場川改修工事 ※令和3年度へ繰越	L=184m、地盤改良工一式	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理している準用河川が整備対象であり、市が事業を実施することは妥当である。 ・治水対策として河川整備することは適正である。 ・河川整備による治水対策をすることで、浸水被害を軽減させる意図は妥当である。  ・市が管理している準用河川の整備は、市の責務であり妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	65.00% ★★★ 達成度がやや低い	① 上第二大場川改修延長(単年度) (増加目標指標)		0% ★ 達成度がかなり低い	
	成果指標	65.00% ★★★ 達成度がやや低い	① 上第二大場川改修延長(単年度) (増加目標指標)		0% ★ 達成度がかなり低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・周辺で進められている他工事との調整により、施工延長を延伸する余地がある。 ・基本計画の総合的な治水対策の推進に貢献している。				
業効性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		評価不可 1,201,073,384.62 円	上第二大場川改修延長(単年度) 活動指標を単位として換算 単位: 円/km				
コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・工事を進めて行く中で、合理的な工法によるコスト削減の検討は常に必要である。 ・市が管理する準用河川であり、治水対策のための事業であることから、他の者に求める余地はない。					
業効性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	河川横断している水路などの既存構造物や、今後築造される橋りょうについて、河川改修工事を効率的に進める上で、工法、工事範囲などを検討している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 河川改修により治水、景観等で良好な住環境が整備されるため、現時点においてマイナス要素は想定されていない。	機会(プラス要素) 河川改修に伴い流下能力の向上が見込まれるため、流域の治水安全度も上昇する。また、景観の改善により良好な水辺空間となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・新たに創設された事業債の活用により、市にとって有利な財源となっている。 ②市民視点・・・良好な住環境の整備として関心が高い。 ③持続可能性視点・・・市内の河川整備だけでは計画流量を確保できないことから、下流域の県管理区域における河川整備を引き続き要望していく必要がある。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	地盤改良を広範囲に一括施工して、その後は順次築堤工事を進め、全体の工期短縮を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	地盤改良を広範囲に一括施工して、その後は順次築堤工事を進め、全体の工期短縮を図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	排水施設管理事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし			
	基本計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(3)雨水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	土木費		道路橋りょう費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	総合治水費		総合治水事業	
		目的	対象(誰を、何を)	市内の排水施設(道路公園課管理施設を除く)			手 段 (どのような事業を行うのか)	①水路パトロールの実施 ②要望箇所調査測量 ③流水支障箇所の修繕 ④水路整備 ⑤浸水被害箇所の治水対策の検討		
		対象年齢	-	-						
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	排水施設を良好な状態に維持し、適切に雨水が排除される。								
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50420402	排水施設修繕		
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					50420403	排水路整備工事		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータルコスト	① 事業費	3,804	238	820	0	△ 238	6,719	16,620
	② 人件費	1,631	4,641	4,739	10,755	6,114	10,755	10,755
	正職員投入人員	0.21人	0.60人	0.60人	1.42人	0.82人	1.42人	1.42人
	正職員人件費	1,631	4,641	4,739	10,755	6,114	10,755	10,755
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	5,435	4,879	5,559	10,755	5,876	17,474	27,375	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	5,435	4,879	5,559	10,755	5,876	17,474	27,375
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
	計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	補修が必要な排水施設の数	箇所	3	0	3		
		年間に修繕を実施した箇所数		5	1	0	1	1
活動指標	①	水路パトロール実施回数	回	30	30	30	30	30
		年間に実施した水路パトロールの回数		38	42	40		
	②	排水路整備延長	m	0	0	0	0	0
		排水路の整備をした延長		24	0	0		
成果指標	①	修繕を実施した箇所数	回	3	1	3	1	1
		年間に修繕を実施した箇所数		5	1	0		

評価年度 の 主な 取組	緊急修繕は必要な案件が無かった。
	水路パトロール実績 令和2年4月～令和3年3月 40回

事業 性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化区域内排水路が対象であり、その維持管理を市が実施することは妥当である。</li> <li>排水路のパトロールを実施し、破損した排水施設の修繕を実施する手段は妥当である。</li> <li>排水施設を良好な状態に維持し、排水機能を確保させる意図は妥当である。</li> </ul>				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
	役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市街化区域内排水路の維持管理は市の責務であり、妥当である。					
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度		
		活動指標	133.33% ★★★★★ 達成された	① 水路パトロール実施回数 (増加目標指標)	126.67% ★★★★★ 達成された	140.00% ★★★★★ 達成された		
	成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 修繕を実施した箇所数 (増加目標指標)	166.67% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された			
	成果向上の 余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は修繕を必要とする案件が無かったため、成果向上の余地が無かった。</li> <li>排水施設の機能維持としての事業であり、上位施策への貢献度は低い。</li> </ul>					
価 効 率 性	単位当たり コスト 変動率		令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率 	
			評価不可	排水路整備延長 活動指標を単位として換算 単位：円/m 226,442.50 円	評価不可	評価不可		
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の性質上、小規模な修繕工事が主であることから、コスト改善の余地は少ない。</li> <li>市街化区域内の排水路の維持管理は市の責務であり、他の者に求める余地はない。</li> </ul>					
	受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容	排水路のパトロール時にスクリーンの堆積物を除去しており、常に排水機能の能力保持に努めている。また、不法投棄物を発見したときは、速やかに撤去を実施している。	
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 破損した排水管の修繕や定期的な河川パトロールの実施は、治水対策上欠かせない業務であり、現時点においてマイナス要素は想定されていない。	機会(プラス要素) 引き続き河川パトロールや必要に応じた修繕を実施して、治水安全度の向上に努める。
	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)	① 経営的視点・・・排水管の破損は、放置すると道路陥没に発展する可能性があり、第三者を巻き込んでしまうことが懸念されるため、早期発見、早期修繕が安全面や費用対効果の観点からも有効である。 ② 市民視点・・・治水対策上重要であり、市民の関心は高い。 ③ 持続可能性視点・・・現時点で事業の見直しは考えていないが、河川パトロールについては将来的には他部署との協力も検討する余地がある。	

事 業 の 一 次 方 向 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)	引き続き定期的な河川パトロールを実施するとともに、雨水排水設備の点検を実施して、適正な管理に努める。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ポンプ施設管理事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	昭和61年度 ~ 未設定	事業年齢	34歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし				
	基本との計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(3)雨水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』			款	土木費	道路橋りょう費		
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	総合治水費	総合治水事業		
		目的	対象(誰を、何を)	①下河岸ポンプ場、吉川五区ポンプ場、栄町ポンプ場、保調整池 ②大型ポンプ車5台 ③木売落かんがい排水機場			目細目	総合治水費		
		対象年齢	-	-		執行方法	一部委託 機械・電気設備点検			
		意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	ポンプ排水が必要な時に、支障なく運転できる。			手段(どのような事業を行うのか)	①ポンプ場は毎年、動作確認、機械・電気設備点検を実施 ②大型ポンプ車は隔年、動作確認、設備点検を実施 ③木売落かんがい排水機場は運転負担金を支払う。			
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 下水道雨水ポンプ施設等管理事業			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 50420301 ポンプ施設維持管理				
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704207				50420302 ポンプ施設点検				

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	5,723	6,004	8,476	7,609	1,605	6,882	7,300
	② 人件費	7,533	9,282	9,479	9,770	488	9,770	9,770
	正職員投入人員	0.97人	1.20人	1.20人	1.29人	0.09人	1.29人	1.29人
	正職員人件費	7,533	9,282	9,479	9,770	488	9,770	9,770
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	13,256	15,286	17,955	17,380	2,094	16,652	17,070	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	13,256	15,286	17,955	17,380	2,094	16,652	17,070
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	ポンプ場及び大型エンジンポンプの数		基	8	8	8	8	8
		一般会計で管理しているポンプ場及び大型エンジンポンプの数			8	8	8		
活動指標	①	点検業務		件	4	4	4	4	4
		業務委託年間件数			4	4	4		
成果指標	①	ポンプ運転故障件数		件	0	0	0	0	0
		運転停止故障件数			0	0	0		

評価年度の主な取組	ポンプ施設(吉川5区ポンプ場、下河岸ポンプ場、栄町ポンプ場、保調整池ポンプ場、大型エンジンポンプ(荏原製)3台 (寺田製)1台)	
	1 業務委託	
	委託名	内容
	吉川5区ポンプ場外3施設点検整備業務委託	吉川5区ポンプ場、下河岸ポンプ場、栄町ポンプ場、保調整池ポンプ場の機器類点検整備
	大型エンジンポンプ車点検整備業務委託	大型エンジンポンプ車(荏原製)3台の点検整備
	吉川5区ポンプ場消防設備保守点検業務委託	消火設備機器点検
	自家用電気工作物保安管理業務委託(R2)	吉川5区ポンプ場自家発電設備点検
	2 施設修繕	
	修繕名	内容
	吉川5区ポンプ場制御盤内修繕	現場盤内ファン交換
大型エンジンポンプ車(寺田製)修繕	大型エンジンポンプ車(寺田製)1台の吸水口、吐出弁交換	
大型エンジンポンプ車ホース修繕	排水ホース交換	
大型エンジンポンプ車ホース及び水位表示板修繕	排水ホース交換、水位表示板修繕	

区分	評価結果		判断理由(特記事項)					
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・治水対策として市が設置したポンプ施設が対象であり、その維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・ポンプ施設が適正に運転できるようにする必要があり、その手段として動作確認、電気点検及び修繕を実施することは妥当である。 ・各施設を正常に機能させ、浸水被害を軽減させる意図であり妥当である。 ・雨水処理は公費とする理念から、行政で実施することは妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度		
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 点検業務 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① ポンプ運転故障件数 (ゼロ値目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・点検により故障の予防が可能となり、また、能力増強をすることが浸水被害の軽減につながることから、成果向上の余地はある。 ・内水排除は市の最重要施策であることから、点検による機能維持は総合的な治水対策に大きく貢献している。					
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効性	単当たりコスト変動率	令和2年度	単当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度			
		113.70% 増加している 4,344,918.00 円	点検業務 活動指標を単位として換算 単位: 円/件	98.75% 若干減少している 3,314,096.00 円	115.31% 増加している 3,821,433.00 円			
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・経年劣化が進む施設の点検、修繕であることから、コスト削減の実現性は極めて乏しく、改善の余地はない。 ・雨水排除は公費とする理念上、受益者負担を求める余地はない。					
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・修繕の優先順位検討や、修繕項目を集約した一括発注等でコスト削減に努めている。 ・平成28年度から、水害対策として新たに新方川への排水を目的とした大型エンジンポンプ車を1台配置した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・施設の老朽化が進んでおり、事業費の削減は難しいが、費用対効果を精査した上で、必要な管理を続けていく。 ②市民視点・・・治水対策上重要であり、市民の関心は高い。 ③持続可能性視点・・・長期的な視点では、部分的な修繕に限界があるため、施設の更新を検討する余地はある。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化		
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	引き続きポンプ施設の修繕を実施して、適正な管理に努める。				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 文武		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化		
	説明					
	二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名		親水啓発事業		所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間		平成29年度 ~ 未設定	事業年齢	3歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	多田 文武	
	関連付け		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	根拠法令等	なし				
	基本 の本 計 関 係	まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度	
		施策小項目				直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	予算科目	会計区分	一般会計				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	目	款	土木費	道路橋りょう費			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	目	細目	総合治水費	親水啓発事業			
	目的 的 項	対象 (誰を、何を)	全市民			執行方法	一部委託 NPO等と協働			
意図 (対象にどのような状態に なってほしいのか)		親水イベントを通じて吉川の歴史・文化を学んでいただき、郷土愛の醸成に繋げたい。			手段 (どのような 事業を行うのか)		農業及び商業と連携した親水イベント(和船乗船体験等)を実施。			
類似事業		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	業務プロセス (No.・名称)			<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	704208							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	1,043	26	30	0	△ 26	60	30	
	② 人件費	1,631	1,083	1,106	76	△ 1,007	76	76	
		正職員投入人員	0.21人	0.14人	0.14人	0.01人	△ 0.13人	0.01人	0.01人
		正職員人件費	1,631	1,083	1,106	76	△ 1,007	76	76
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間接経費(加算)					0				
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	2,673	1,109	1,136	76	△ 1,033	136	106		
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C 吉川市年間負担経費(A-B)	2,673	1,109	1,136	76	△ 1,033	136	106		
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	全市民		人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
		水に触れる機会のある全市民			72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	①	イベント開催回数		回	1	1	1	1	1
		親水イベント開催回数			1	1	0		
成 果 指 標	①	イベント参加人数		人	100	150	150	150	150
		親水イベント参加人数			126	120	0		
	②								

評価年度 の 主な 取組	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い中止となった。
-----------------------	-------------------------------

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討	・イベントを通じて吉川の歴史・文化を学んでいただくものであり、市において実施していくことは妥当である。 ・現時点においては全市民を対象としているが、今後市外の方々に対して「かわのまち吉川」をPRしていくことも必要と考える。 ・吉川の歴史・文化を学んでいただくことで、郷土愛の醸成に繋がるものであり、意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・吉川の川の歴史を学んでいただく機会でもあり、埼玉県「川の博物館」にも協力していただいている等、吉川市や埼玉県が川から多くの恩恵を受けていることを広く知ってもらう場でもあるため、行政主体での開催は妥当と考える。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① イベント開催回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① イベント参加人数 (増加目標指標)	126.00% ★★★★★ 達成された	80.00% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・今後イベント内容を充実させていくことにより、成果向上の余地はある。 ・「かわのまち吉川」を知ることにより郷土愛の醸成に繋がり、総合戦略における「市民の幸福実感を追求する」ものとなる。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		評価不可	イベント参加人数 成果指標を単位として換算 単位：円/人	121.02% 増加している 21,217.93 円	43.55% 減少している 9,239.89 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・事業着手して日も浅いため、今後回数を重ねていく上でイベントに必要な資材などにかかるコスト改善の余地はある。 ・歴史・文化を学んでいただき郷土愛の醸成へと繋がるものであり、受益者負担を求めるものではない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・より多くの参加者を募るためには、イベント内容をより充実させていくとともに、イベントそのものを定着させる必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<b>リスク(マイナス要素)</b> まつり会場である大場川は埼玉県管理河川であることから、開催に際しては一定の制限が生じ、また、現在は人口密集地域からの距離もあるため、参加人数の増加を見込むのが難しい。水質の問題もある。	<b>機会(プラス要素)</b> 今後、吉川美南駅東口の区画整理事業や大場川の護岸整備が進めば、人口増や親水性の高い河川の相乗効果による参加者増加が期待できる。また、隣接する第2最終処分場との一体活用も効果的と思われる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	① 経営的視点・・・まつり参加者人数に比して職員人件費が過大であり、効率化の検討が必要である。 ② 市民視点・・・参加する市民の皆さんの満足度向上、地域特性を活かしたイベントの検討が必要である。 ③ 持続可能性視点・・・地域による自主的な開催、地域に根づくイベントに育てていくことが必要である。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	イベントの内容及び手法について、毎年度見直しを行い、常に改善を目指す。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	多田 武文	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	イベントの内容及び手法について、毎年度見直しを行い、常に改善を目指す。			
	二次評価日	令和3年6月23日			